opentext™ | Cybersecurity

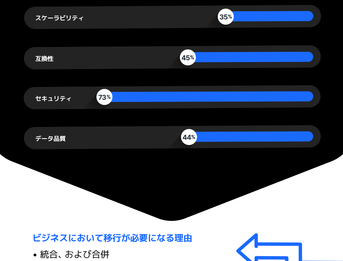
Carbonite® Migrateで ワークロードの迅速な移行を実現

データやワークロードの移行は負担ながらも回避できないイベントに

80% の企業が、2025年までにクラウド、ホスティング、コロケーションサービスに移行すると予測されています。[1]

50% の企業が規制要件に直面し、アプリケーションとデータをクラウドに移行しています。[2]

クラウド移行に伴う課題はセキュリティ（73%）への懸念が最上位であるものの、互換性（45%）、データ品質（44%）、スケーラビリティ（35%）への懸念も見られます。[3]



ビジネスにおいて移行が必要になる理由

- 統合、および合併
- ハードウェアのアップグレード
- ソフトウェアやアプリケーションのアップグレード
- 既存ソフトウェアのサポート終了
- クラウドへの移行
- オフィスやデータセンターの移転

移行が先延ばし、または回避される一般的な理由

- ITリソース（時間、コスト）
- 複雑性
- ダウンタイムの発生
- データの破損や損失のリスク
- アプリケーション性能の問題

データ移行の一般的なシナリオ

リホスト

- 物理サーバーから仮想サーバーまたはクラウドへの移行
- データセンターの移行
- M&A、コストやリスク要因による移行

リプラットフォーム

- SQL Serverのサポート終了
- コスト最適化のためのプロバイダー変更
- ワークロードの最適化（Azure Stackへの移行など）

リファクタ

- クラウドやSaaSへの移行（SAPのクラウドへの移行など）

データ移行に伴う課題

- ダウンタイムとデータ損失
- 適切なデータ移行プランニングの欠如
- 業界への支障
- 複雑性
- 互換性

OpenTextによる移行に関する課題への対処

ユーザーやシステムの稼働をよめることなく、始めから終わりまで最適速度の生産性を確保できるデータ移行

常に安心できる移行を提供するためのプリフライトチェックと自動化

移行プロセスの最適化が熟練リソースの開発を減らすことによるコスト削減に加え、カットオーバー作業の自動化によるプロジェクト期間の短縮

一般的なリスクを排除し、移行を合理化する高度に自動化されたプロセス

異なるハードウェア、仮想環境、クラウドプラットフォーム間の移行に対応

OpenTextによる移行のユースケース

M&Aによる移行やデータセンターの移行

卓越したインフラストラクチャ機能

- パブリッククラウド（Google Cloud、Microsoft Azure、AWSなど）からプライベートクラウド、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドまでのあらゆるクラウドに対応
- VMware、Hyper-V、KVM、Xenなどのあらゆるハイパーバイザーに対応
- ハードウェア環境

合理的な移行プランニング

- 検出からインストール、構成、プロビジョニング、移行、カットオーバーに至るまでの移行プロセスを自動化
- 中央コンソールで自動化された移行を合理化

ほぼゼロのダウンタイム

- サーバー全体、アプリケーションのみ、データのみの移行を選択可能
- サーバーのワークロード全体を取得
- ダウンタイムがほぼゼロのリアルタイムレプリケーションを使用
- カットオーバー前にターゲットをテスト

移行に関するタイムライン

一般的な移行のタイムライン

OpenTextによる移行のタイムライン

OpenTextの差別化要因

- リアルタイムのハイトレベルなレプリケーション
- 移行中もユーザーによる利用やアプリケーションの利用が可能
- ソースおよびターゲットのプラットフォームを幅広くサポートする自動化機能

業界をリードするテクノロジーを搭載

- サーバー全体やデータのみの移行が可能
- 多様なハードウェアやプラットフォームに対応
- リアルタイムでハイトレベルなレプリケーション技術により、物理的距離にかかわらず効率化を図り必
- ワンクリックまたは自動で簡単にカットオーバー
- Hyper-VやvSphere上の仮想マシンを自動でプロビジョニング
- AES 256ビット暗号化でセキュリティを確保
- 圧縮と帯域幅のアクジョーリングでWANを最適化
- 移行テストが可能

Carbonite® Migrateで各データに最適な環境を選択

OpenTextが提供できること

市場で数十年もの実績を誇るクロスプラットフォームソリューションにより、「Any to Any」環境のシームレスなデータ移行を実現します。

- 数分でカットオーバーでき、リスクとダウンタイムをほぼゼロにまで削減
- 新しい環境を無制限にテスト
- プロセスの各段階のオーケストレーションを自動化

お客様が実現できること

- インフラストラクチャコストを削減し、余分な支出を節約（例: ホットデータとコールドデータの保管場所を分離し、コストを最適化）
- ベンダー依存からの脱却でITアジリティ が向上（例: ハイパーバイザー、ハードウェア、クラウドのあらゆるベンダーを利用可能）
- 大規模なワークロードの移行後もすぐに稼働可能

Carbonite® Migrateに関する詳細

詳細はこちら

opentext™ | Cybersecurity

[1] The Economist. The world's most valuable resource is no longer oil, but data
[2] Tech Target: DRaaS guide: Benefits, challenges, providers and market trends
[3] Infonit Research Limited: Global Disaster-Recovery-as-a-Service (DRaaS) Market 2021-2025